

とっとり観光ニュース 2010年2月号

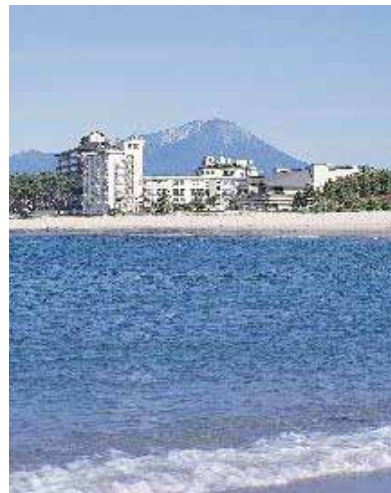
1 皆生（かいけ）温泉「開湯110周年」

皆生温泉は鳥取県の西の端、島根県と県境を接する米子市に位置し、日本海に面した海辺の温泉郷です。白砂青松の海岸線と中国地方最高峰の国立公園・大山（だいせん）に育まれたロケーションが大変美しい温泉地です。1900年に漁師が海中に湧き出す温泉を発見したのが始まりで、今年、開湯110周年の節目を迎えます。

平成22年度は「皆生開湯110周年記念キャンペーン」として、お客様にいっそう満足していただけるような様々な企画を実施します。

また、皆生温泉のオリジナル日本酒造りを目指す皆生温泉旅館組合青年部は、先日、境港市内の造り酒屋で2年目の新酒の仕込み作業を行いました。オリジナルブランド「皆生温泉・海に降る雪上代」は2月中旬に完成し、2月24日の発表会を機に新酒の取り扱いを開始します。初のお披露目となった昨年は、限定1000本を製造しましたが、大きな話題を呼びわずか2ヵ月で完売したため、今年は増産することになりました。乞うご期待！

この新酒の完成発表会を「110周年記念事業発表イベント」と位置づけて開催する予定です。



～皆生開湯110周年記念キャンペーン（予定）～

- 皆生温泉～境港・大根島周遊「鬼太郎バス」の運行（4月～9月、毎週日、月計54日間）
- 漁火（いさりび）の見える足湯として、皆生海浜公園に足湯が完成（8月頃）
- 灯り事業 皆生温泉オリジナル手作り行灯製作（通年）
- 「美湯めぐり」として、湯巡りチケットの販売（5・6月頃）
- プロ野球公式戦広島－阪神戦関連イベント（6月22、23日）
- 日本旅行作家協会総会誘致（秋ごろ）
- 米子工芸会とタイアップした作品展示（未定）
- 第30回トライアスロン…平成22年7月17日（土）～19日（月・祝）
- 第2回皆生・大山SEA TO SUMMIT…平成22年9月4日（土）～5日（日） など

■お問い合わせ先 皆生温泉旅館組合 TEL：0859-34-2888

○皆生温泉旅館組合 <http://www.kaike-onsen.com/>

2 2010年「お笑いバス皆生温泉号」運行スタート！！（京都・大阪発着）

今シーズンの「お笑いバス皆生温泉号」の運行がスタートしました。関西期待の若手落語家が同乗して芸を披露する大変ユニークなバスです。2名以上で催行、料金は往復でなんと5,800円！！

同乗の落語家が、途中停車したサービスエリアなどで、参加していただいたお客様のためだけにタププリと芸を披露します。

また、皆生温泉にお泊りになった翌日が日・月曜日であれば、「鬼太郎バス」で境港での海産物ショッピングや水木しげるロードの散策をお楽しみいただくことも出来ますので、あわせてご利用

ください。

■期 間

〔関 西 発〕 平成22年3月14日(日)までの毎週木曜・金曜・土曜・日曜日 出発

〔皆生温泉発〕 平成22年3月15日(月)までの毎週金曜・土曜・日曜・月曜日 出発

■最小催行人数 2人

■行 程

〔関 西 発〕 JR京都駅発(8:15)→JR新大阪駅発(9:15)→サービスエリアで演芸大会→皆生温泉各旅館(13:30-13:37)

〔皆生温泉発〕 皆生温泉各旅館(14:30-14:37)→お菓子の壽城(15:00-15:30)→JR大阪駅着(19:00)→JR京都駅着(20:20)

■料 金 往復:5,800円、片道:3,000円(宿泊は含まれておりません。)

■お申し込み先 大阪市東淀川区東中島1-20-14
アミイファクト(株) TEL:06-6990-6500

■お問い合わせ先 米子市観光協会 TEL:0859-37-2311

○米子市観光協会 <http://yonago.sanin.jp/p/monthly/25/>

○皆生温泉旅館組合 http://www.kaike-onsen.com/kani_bus/owarai.html

3 「鬼太郎ランコロンウォークの会」発足

昨年11月15日に開催した「第1回境港妖怪ウォーク」は、513名もの参加者を迎え大盛況でした。そこで、さらなる健康増進のためにもっとウォーキングの機会を増やそうと、境港市観光協会では、新たにウォーキングコースを設けて、毎月1回、定期的にウォーキング会を開催することにしました。名付けて「鬼太郎ランコロンウォークの会」。

毎月、第4日曜日に5km程度のコースを歩きます。参加料は無料で、特に賞品はありませんが、ゴールの際に会専用のスタンプを押印します。

申し込みは不要ですので、参加したい方は当日の朝9時45分までにスタート地点にお越しください。



■実 施 日

～2010年の開催日～

2月21日(日)・3月28日(日)・4月18日(日)・5月23日(日)・

6月27日(日)・7月18日(日)・8月22日(日)・9月26日(日)・

10月17日(日)・11月28日(日)・12月26日(日)

※第4日曜日にイベントが重なる場合には、第3日曜日に開催

■コース

(1) 水木しげるロードコースA(スタート/ゴール:妖怪壁画倉庫 5.4km)

(2) 水木しげるロードコースB(スタート/ゴール:妖怪壁画倉庫 5.6km)

(3) 水木しげるロードコースC(スタート/ゴール:妖怪壁画倉庫 5.8km)

(4) 竹内団地コース(スタート/ゴール:夢みなとタワー 5.2km)

■日 程

午前 9時45分 スタート地点に集合/午前 9時50分 準備体操/

午前10時00分 スタート /午前11時30頃 終了

■その他

(1) 雨天決行です。雨具・防寒具は各自でご用意ください。

- (2) 「水木しげるロードコース」では駐車場の用意はありません。各自で境港市周辺の有料駐車場をご利用ください。「竹内団地コース」では夢みなとタワーの駐車場（無料）をご利用いただけます。
- (3) この会は無料開催のため、参加者への損害保険加入はありません。けが等の際には応急処置はいたしますが、それ以上の責は負いかねますのであらかじめご了承ください。

■お問い合わせ先 境港市観光協会 TEL：0859-47-3880

○境港市観光協会 <http://www.sakaiminato.net/site2/page/event/mizuki/walknokai/>

4 冬でも安心・超格安！！新大阪発→三朝温泉直行バス「三朝（みささ）号」

新大阪駅から三朝温泉直行の超格安バス「三朝号」がこの冬、初登場！！新大阪駅前から期間中毎日出発します。ぜひみなさん、この機会に三朝温泉にお越しください。

また、三朝温泉直行バス「三朝号」をご利用のお客様や、JR等の公共交通機関で三朝温泉へお越しの方が、お泊りの翌日、気軽に観光スポットに立ち寄り家路につける、三朝温泉冬季限定の観光バス「ルンルンバス」、「かにかに砂丘号」も運行しており、三朝温泉以外の観光にも大変便利です。



[三朝号]

JR新大阪駅から三朝温泉直行の超格安バスです。

■期 間 (新大阪発) ～平成22年3月14日(日)まで運行
(三朝温泉発) ～平成22年3月15日(月)まで運行

■行 程

〔往 路〕 JR新大阪駅南側団体観光バス駐車場(8:45集合・9:00発)→中国道→三朝ロイヤルホテル(13:00頃)→三朝温泉入口バス停→三朝温泉バス停(13:15頃)

〔復 路〕 中国庭園燕趙園前(14:30)→三朝温泉バス停(15:00)→三朝温泉入口バス停(15:01)→三朝ロイヤルホテル前(15:05)→中国道→JR新大阪駅周辺(19:00頃)

■料 金 おとな 3,800円(往復)、こども 1,900円(往復)

※税込み料金です。

※三朝温泉にご宿泊のお客様のみご利用いただけます。

■お問い合わせ先 (株)日本交通旅行社 TEL：0858-26-1117

[ルンルンバス]

三朝温泉にご宿泊の翌日は、この周遊観光バスがピッタリ。

■期 間 ～平成22年3月15日(月)まで運行

※運休日 2/1・15・23、3/1・15

■行 程 三朝温泉(9:30)→三朝温泉入口(9:35)→三朝ロイヤルホテル(9:45)→元帥酒造(9:55-10:15)→鳥取二十世紀梨記念館(10:20-11:00)→倉吉白壁土蔵群・赤瓦(11:05-12:35自由昼食)→※AコースまたはBコース
Aコース：倉吉白壁土蔵群・赤瓦(12:35発)→燕趙園(13:00-14:00)※大

阪直行バス「三朝号」に接続→JR倉吉駅（14：15）※スーパーはくと10号に接続

Bコース：倉吉白壁土蔵群・赤瓦（11:45 発）→JR倉吉駅（12：00 着）※スーパーはくと8号に接続

■料 金 Aコース 大人 2,000円、小人 1,400円

Bコース 大人 1,500円、小人 1,000円

■旅行実施企画 日ノ丸観光トラベル倉吉営業所 TEL：0858-22-7602

■お問い合わせ先 三朝温泉旅館協同組合 TEL：0858-43-0431

[かにかに砂丘号]

三朝温泉にご宿泊の翌日、ちょっと足をのばしてみませんか？松葉がにの本場、鳥取・賀露港で、松葉がにをはじめ、新鮮な海産物のショッピングと砂丘観光をお楽しみください。



■期 間 ～平成22年3月15日（月）まで運行

■行 程 三朝温泉（9：40）→三朝温泉入口→三朝ロイヤルホテル（9：45）→鳥取賀露港（10：45～11：25）→鳥取砂丘観光・昼食（11：35～12：50）→JR鳥取駅（13：10）※スーパーはくと10号に接続。下車可。→燕趙園前（14：00）：下車可
※大阪直行バス「三朝号」に接続→JR倉吉駅（14：15）※スーパーはくと10号に接続

※燕趙園休館日はJR鳥取駅以降がコース変更

■料 金 昼食付き 大人 3,000円、小人 2,400円

※昼食は、砂丘センター「せいろ蒸し定食」

※6歳未満のお子様で席が必要な場合は小人料金がかかります。

■特 典 浜下商店（海産物直売所）…抽選会（ハズレなし）／景品：姿がに・かにみそ・ちくわ等／かに汁無料

砂丘センター…らっきょう小袋・砂丘リフト券プレゼント

■旅行実施企画 日本交通旅行社 TEL：0858-26-1117

■お問い合わせ先 三朝温泉旅館協同組合 TEL：0858-43-0431

○三朝温泉観光協会 <http://www.misasa-navi.jp/>

○三朝温泉旅館協同組合 <http://www.spa-misasa.jp/>

5 大阪発→はわい温泉・東郷温泉行き「カニバス直行便」

大阪発、はわい温泉・東郷温泉行きの「カニバス」を下記のとおり運行中です。鳥取県中部・はわい温泉・東郷温泉のほか、鳥取砂丘の見学と賀露港での新鮮な海産物のショッピングもお楽しみいただけます。



はわい温泉足湯「福祿寿の湯」

■期 間 ～平成22年3月31日（水）まで運行

■行 程

〔往 路〕 天王寺・天王寺公園バス駐車場（8：30）→梅田・大阪中央病院西側（9：00）→中国道→鳥取砂丘（自由食 12：30～13：15）→東郷温泉（14：00）→はわい温泉（14：15）

〔復 路〕 はわい温泉（15：00）→東郷温泉（15：15）＝賀露港（海産物のお買物）（16：00～16：30）→中国道→大阪駅周辺（20：00 頃）→天王寺駅周辺（20：30 頃）

- 料 金 お一人様 往復3,000円(税込み)
 ※バス料金は、大人・小人とも同料金(小人は、席を確保する場合)
 ※はわい温泉・東郷温泉にご宿泊の方に限ります。
 ■お問い合わせ先 はわい温泉・東郷温泉旅館組合 TEL:0858-35-4052

○はわい温泉・東郷温泉旅館組合 <http://www.hawai-togo.jp/>

6 安徳の里 姫路公園「かまくら祭」

鳥取県八頭郡八頭町内にある安徳の里・姫路公園には、「安徳天皇資料館」があり、平家物語長門本(複製)や安徳幼帝が行在されていたことを伝える合掌地蔵などが展示されています。近くには安徳天皇の墓と伝承されている「上岡田五輪塔群」も祀られています。

姫路公園は子どもから高齢者まで楽しめる自然天国で、テニスコートや自転車モトクロス場、バーベキューハウスなどを備えた総合アウトドア施設です。公園の開園期間は4月下旬から11月末ですが、冬の期間中の下記の日程に限り開園し、「かまくら祭」を開催します。

かまくら作りコンテスト、雪だるま作り、ソリ遊び、小鳥の観察など、冬の魅力満載のイベントです。かまくらの中で、かきもちやみかんを焼いて食べたり、雪の中の暖かさを体験してください。



- 日 時 平成22年2月28日(日)、3月7日(日)、3月14日(日)
 午前10時～午後4時
 ※期間中の平日・土曜日については、団体ツアーに限り、対応可能(要予約)
 ■場 所 安徳の里・姫路公園(八頭郡八頭町姫路)
 ■入場料 大人 500円/人、小学生以下 無料
 ■その他 2月28日(日)については、かまくら作りコンテストを開催。
 ■お問い合わせ先 八頭町観光協会(八頭町産業課内) TEL:0858-76-0208

○八頭町ホームページ <http://www.town.yazu.tottori.jp/dd.aspx?itemid=3149>

7 岩美国際現代美術展－鳥取の人と自然－

世界自然遺産候補地で、山陰海岸国立公園内の名勝「浦富(うらどめ)海岸」のある鳥取県岩美郡岩美町で、「人と自然」をテーマとした「岩美国際現代美術展－鳥取の人と自然」展を開催します。

ドイツ・韓国・日本の美術家12作家が岩美町に短期滞在し、創作現場を公開するとともに、地元と作家の地域交流を実施しながら、町内の公共施設や古民家、屋外に地元資源を活用した現代美術の作品を作成し、展示を行います。

- 会 期 平成22年3月6日(土)～14日(日) 午前11時～午後6時[会期中無休]
 ■会 場 鳥取県岩美町内(岩井温泉地区、旧岩美病院、岩美駅周辺)
 ■招聘作家 ドイツ2名、韓国5名、日本5名
 ■観 覧 料 無 料

～関連企画～

□オープン・アトリエ Studio 652(旧岩美病院)

日時:平成22年2月1日(月)～3月5日(金)

アーティスト・イン・レジデンス(滞在型現地制作)に参加しているアーティストのアト

リエを見学できます。なお、アーティストにより滞在期間が異なります。また、常時創作活動を行っているわけではありません。詳しくは、お問い合わせください。

□公開シンポジウム テーマ「人と自然のアートについて」

日時：平成22年3月6日（土） 午後3時～5時（予定）

場所：岩美町役場

パネリスト（予定）：シム・ムンソップ、ソ・ヨンソン、ヴェロニカ・ドバス、カトリン・パウル、大久保英治

司会進行：加藤義夫（美術評論家）

■お問い合わせ先 鳥取県地域文化芸術振興プラン実行委員会
（鳥取県文化観光局文化政策課内） TEL：0857-26-7134
現地事務所（岩美町自立推進課内） TEL：0857-73-1412

○とりネット（鳥取県公式ホームページ） <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=86471>

○岩美町役場ホームページ <http://www.iwami.gr.jp/dd.aspx?itemid=3752#itemid3752>

8 石谷家住宅（智頭町）～「お雛様と遊びびな」～

智頭町の「石谷家住宅」は昨年12月8日付告示により国重要文化財に指定されました。現在、石谷家の建物の大半は町に寄贈されており、下記のとおり公開されています。

また、1月29日（金）から4月16日（金）までの期間中は、特別に石谷家のお雛様が初お目見えします。明治・大正・昭和初期の内裏雛や現代の遊びびなを展示します。

■施設名 石谷家住宅（いしたにけじゅうたく）
■所在地 鳥取県八頭郡智頭町智頭（JR智頭駅から徒歩15分）
■開館時間 午前10時～午後5時
■休館日 水曜日（水曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始（12/28-1/2）
■入館料 大人 500円、高校生 400円、小中学生 300円
※15名以上の団体の場合は100円割引



～石谷家のお雛様と遊びびな～

期 間 平成22年1月29日（金）～4月16日（金）

場 所 石谷家住宅一号蔵展示室・主屋

■お問い合わせ先 （財）因幡街道ふるさと振興財団
TEL：0858-75-3500

○石谷家住宅ホームページ <http://www.ifs.or.jp/>

9 第8回智頭・備前街道「雛あらし」

鳥取県東部の智頭では、子ども達が桃の節句に“お雛さま”を飾っている家に行き、ご馳走をいただく「雛あらし」という風習がありました。近年失われつつあったこの風習を活かし、商店街に賑わいを取り戻そうということからイベントがスタートし、今回で8回目を迎えます。

下記の期間中、格子の町屋や商店街に様々な雛が飾られ、26日・27



日は夜8時まで公開します。静かな間にぼんやり浮かぶお雛さまの穏やかな顔をご覧ください。

また、その他にも「おいり」や甘酒の振る舞いがあるほか、数か所あるポイントを回って一対の雛を作り上げる「ミニ雛作りラリー」などの体験企画も実施されます。

- 日 時 平成22年3月26日（金）～28日（日）
- 会 場 智頭駅～かわらまち商店街～石谷家住宅（上町・中町筋）
- お問い合わせ先 智頭町観光協会（智頭町総合案内所内） TEL：0858-76-1111

10 江戸時代から続く伝統行事「流しびな」

“もちがせの流しびな”は、旧暦の三月三日のひなまつりに男女一対の紙雛を棧俵にのせ、菱餅や桃の小枝を添えて、災厄を託して千代川（せんだいがわ）に流します。無病息災で1年間幸せに生活できるように願う情緒豊かな民俗行事です。昭和60年、県無形民俗文化財に“もちがせの雛送り”として指定されています。

もともと物忌みの行事で、紙などで人形（ひとがた）を作り、これで体をなで、災いをその人形にうつして川や海に流す行事から生まれた風習です。この行事がいつの頃から始められたのか、文献等の記録が少なく定かではありませんが、「源氏物語」に源氏の君が祓いをして人形を舟に乗せ、須磨の海へ流すという著述があり、雛流しそのものの原型は、遠く平安時代にさかのぼるといわれています。



ここ鳥取市用瀬町には今日まで、時代の変遷と共に形を変えながらも、“もちがせの流しびな”として受け継がれており、平成22年は4月16日（金）に開催されます。当日は、町内一般家庭のひな飾りを見学でき、さまざまな催しが午前10時から行われます。会場はJR用瀬駅から徒歩約5分。特急スーパーはくと号、特急スーパーいなば号のそれぞれ一部が用瀬駅に臨時停車する予定です。

また、様々なひな人形を展示している「もちがせ流しびなの館」も必見。鳥取県東部の「いなば温泉郷」（岩井・鳥取・吉岡・浜村・鹿野の各温泉）の宿泊と組み合わせて、のんびり春を満喫してみませんか。

- お問い合わせ先 （財）用瀬町ふるさと振興事業団 用瀬流しびな実行委員会
TEL：0858-87-3222

○流しびなの館 <http://nagashibinanoyakata.jp/>

11 「砂の美術館－第4期展示－」開催期間決定！

昨年9月18日から「砂で世界旅行・オーストリア編～貴族文化と音楽の都を訪ねて～」をテーマに開催された「砂の美術館 第3期展示」が1月3日に閉幕しました。約3ヶ月半の開催期間中に目標入館者数の17万人を上回る多くの方々にご来場いただき、鳥取の新たな観光スポットとして定着しつつあります。

そして、第4期展示の開催期間が下記のとおり決定しました。テーマ等の詳細は決まりしだいご紹介します。



砂の美術館－第3期展示－

【砂の美術館 第4期展示】

- 会 期 平成22年5月29日（土）～平成23年1月10日（月）[無休]

- 場 所 鳥取市福部町湯山 2083-17（鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり隣接地）
■開館時間 午前 9 時～午後 8 時（入館は閉館 30 分前まで）
※日没後は毎日ライトアップ
■料 金 一般 500 円、小中高校生 300 円
※20 名以上の団体の場合は、100 円割引
■お問い合わせ先 鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり TEL：0857-20-2231

○砂の美術館 <http://sakyu.city.tottori.tottori.jp/museum/>

編集・発行：鳥取県文化観光局観光政策課 電話 0857-26-7237 FAX 0857-26-8308 E-mail kankou@pref.tottori.jp
発行年月日：平成 22 年 1 月 28 日 県内外のマスコミ関係者の皆様に、地元の視点から県内観光スポットや関連イベント等を紹介します。この観光ニュースは、マスコミ等の皆様へ定期的にお届けし、記事等の参考にさせていただけるように心掛けて作っています。しかしながら、紙面には限りがあります。不明なところなどは気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。複製・転載可。（一部画像を除く。）
－鳥取県観光情報はこちらから → <http://yokoso.pref.tottori.jp/>